



一般社団法人
富山県作業療法士会
ニュース

平成30年度 No.2 第128号 平成30年9月26日

発行 一般社団法人
富山県作業療法士会
会長 齋藤 洋平
印刷 株式会社エツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>
富山県作業療法士会会員数：638人

新会長挨拶

一般社団法人 富山県作業療法士会会長 齋藤 洋平



長年に渡り、富山県作業療法士会を牽引された、田村前会長よりバトンを受け、今年度より、県士会長を拝命させていただきました。任期を県士会ならびに作業療法士発展のため

に、尽力して行きたいと思えます。

まずは、平成30年7月豪雨で被害に遭われた方々、ならびに関係者の方々に、謹んでお見舞い申し上げます。富山県作業療法士会として、心ばかりですが、義援金・支援金をお送りさせていただきました。これを機に、富山県作業療法士会でも、被災した際に、どのように会員を守りながら、県民に貢献するのか考えていかなければならないと思えます。

さて、私たち作業療法士には、様々な分野で「活動と参加」「自立支援」といったことが求められています。当然、働く場所によっては、実感されにくいこともあるかと思いますが、社会を支える地域包括ケアとその中心に置かれるリハビリテーション、そして、それに精通している作業療法士の役割は、益々大きくなっていると認識しています。また、共生型社会の中では、障害に関わらず、作業療法士のスキルを活かした社会作りが求められています。

平成30年の診療、介護、障害福祉サービス等のトリプル改定においては、本来求められる成果についてはプラス改定となり、作業療法士の在り方

について考えるよい機会となりました。

同時期に、日本作業療法士協会では、作業療法の定義を「作業療法は、人々の健康と幸福を促進するために、医療、保健、福祉、教育、職業などの領域で行われる、作業に焦点を当てた治療、指導、援助である。作業とは、対象となる人々にとって目的や価値を持つ生活行為を指す。」と改定しました。これは、より作業療法士が対象者や家族の意志や選択を重視すべきであり、地域と医療倫理の根本を支える重責を担っていることを示していると思えます。

また、「20年後ITによって失われない職業」の上位に作業療法士が挙げられ、これまで行ってきた作業療法が評価され、社会作りには欠かせない、重要な職業であることをしめしているのではないのでしょうか。

これから、富山県作業療法士会は、今まで以上に作業療法士自身への貢献を図ると共に、たくさんの新しい取り組みも行っていきたいと考えています。現在進行中のものとしては、介護ロボットの開発事業を富山大学や関係者の協力を得て行っています。これまでは、専門職それぞれがそれぞれの知見や技術から対象者に関わることがほとんどでしたが、今後は、様々な分野と連携しながら、職能団体として、また、生活する地域と作業療法を協調していくか問われることと思えます。

発展的なご意見、提案はどんどんお寄せいただき、会員みんなで作り上げる県士会を目指していきますので、ご理解、ご協力を今後ともお願いいたします。

作業療法体験会

みしまの苑一穂 水口 槇子

平成30年7月22日に厚生連高岡病院にて作業療法士体験会（呉西地区）が開催され、普及指導部員として参加させていただきました。今回、高校生の参加人数は56名でした。去年の人数を大きく上回り、作業療法士という職業に興味を持って足を運んでくださる方が増えたことは嬉しく思います。

体験会の内容は、作業療法の概要や分野ごとについての作業療法士によるスライド発表、そして、作業療法を体験しながら理解していただけるような企画についても取り組んでおり、今回は「タワー作り」を行いました。グループごとに新聞紙を高く積み上げてタワーを作るゲーム形式のものです。グループごとに新聞紙の使い方を話し合ったり、工夫したりしながら、競い合った後、具体的に工程や必要な能力について振り返りました。アンケートでは、「コミュニケーションをとり、考えて実行することは難しかったけど、達成感があ

った。」との声があり、作業療法をコミュニケーションや達成感を通して、少しでも感じていただけたような気がします。また座談会では、高校生に分かりやすく伝えることは難しいこともあり、部活動や趣味などイメージのしやすいことを例に挙げながら、対象者の状態や作業療法について話すように心がけました。自分が志望した際のことや、日頃の業務で感じていること、やりがいを話すうちに、私自身が初心を思い出す機会をいただけたように思います。作業療法の魅力についても改めて感じられました。

今回の作業療法士体験会に来てくださった方が、作業療法について考えてくださり、そして未来の作業療法士として活躍される方がおられることを期待したいです。そういった未来のためにも、作業療法士として精進していきたいと思っております。最後に、こういった活動に携われる機会をいただけたことに感謝しています。





第12回精神障害部会研修会を終えて

啓愛会 小矢部大家病院 中島 宣大

今年の6月17日に開催された第12回精神障害部会研修会「怒りへのアプローチとその治療プログラム」に参加させて頂きました。日々の臨床現場の中でも、患者様、または利用者様同士が喧嘩をするといった場面が多々あることと思われます。私自身の担当している患者様の中にも「こうあるべきだ!!」という価値観から口論に発展することが何度も見られているため、今回の研修の演題は、とても良い機会ではないかと感じ参加させて頂きました。

講師である国立病院機構北陸病院の心理療法士の岸山尚子先生からは「怒り」という感情の発達についてから対象に配慮したプログラムまで分かりやすくお話していただきました。その中で、アンダーコントロールトレーニング（以下、ACT）について、特徴と理論、プログラム内容についてという項目が印象深く残っています。特徴と理論については、「怒りの機能」を研修内で一般的怒りの機能モデルという、国際機能生活分類にも似た票を用いた体験をしました。自分自身が怒りを覚えた場合の心理的・社会的・生理的反応などいくつかの項目で抽出していき、その時の対応はどうしたらよかったのか、その結果はどう結びつくのかを患者様や利用者様など対象にアプローチを行う講義段階の前に自身で体験する機会が設けら

れ振り返ると怒りを覚えているときの自分自身の反応に改めて気づかされることが多くありました。治療プログラムでは、アスペルガー症候群をベースに説明していただき、ACTに対する認知行動療法の有能性について詳しく説明してくださいました。

私にとっては、学生生活時の授業内容でしか認知行動療法には触れたことはなく、現場に出からは全く関わる事が無かった言葉でしたが、今回の抗議により認知機能行動療法の有能性やちがった方面からの刺激が入ってきたような印象を受けました。

アスペルガー症候群に対する認知の欠落、機能的ではない思考、認知のゆがみなどに焦点を当てるなど実際に発達部門で関わる事が多い現場の方々にとっては、とても有意義な講義だったのではないかと思います。

最後に、私個人的な感想となりますが、今回の講義では、あまり触れることがなかった分野であるACTや認知行動療法など、改めて新鮮味を感じる有意義な時間となりました。今回の講義のように他の部会の研修会にも多く参加することにより新しい刺激を私自身の中に多く取り入れていきたいと感じました。

皆さん、日赤の正式名称をご存知ですか？日本赤十字富山病院？日赤富山病院？いえいえ、正式には富山赤十字病院です。えっ？知っていました！？これは失礼いたしました。

当院は明治40年5月に日本赤十字社富山支部病院として全国で6番目に開設されました。

戦時中は富山陸軍病院赤十字病院と改称され、昭和18年現在の富山赤十字病院に改称されました。富山駅北口から徒歩15分のところに位置し、「とやま都市MIRAI計画」地域にあり、神通川や呉羽山の美しい四季に恵まれ、遥かに立山連峰の絶景を望む素晴らしい自然環境の中にあります。第2次救急指定病院として急性期医療に対応し、がん診療地域連携拠点病院、災害拠点病院等の診療機能に加え、訪問看護ステーションを開設し保健や福祉・医療の一体化を担っています。

その中でリハビリテーション科は主にICU・CCU・HCUの脳血管・運動器・呼吸器・心臓の超急性期や血液内科を含むがん、緩和ケア、訪問等のリハビリを実施しています。現在OT 5名（うち訪問1名）、PT11名、ST1名、リハビリ部長（整形外科兼任）1名、副部長（同様）1名、事務1名で構成しています。

日々の業務の他に、リウマチ教室（リウマチ患者と家族の会）、ライラックの会（血液内科患者と家族の会）、さわやか会（糖尿病患者と家族の会）への指導の他、糖尿病教室や健診受診者への運動指導等を実施しています。また、日々の回診やカンファレンス、呼吸器や摂食嚥下口腔ケア、褥瘡、排尿ケア、骨粗しょう症リ

エゾン、医療安全等の各チームを通して他職種と連携して安心安全な質の高い医療を提供しています。

当院の平均在院日数は11.7日です。そのためすみやかな運動機能の回復、ADLの向上、二次的合併症の予防、障害受容の促し等を目的にOTを実施しています。患者様やご家族の心に寄り添い不安を少しでも軽減し、出来るADLを獲得し生活リズムを整えていけるよう病棟看護師と連携しています。また休日リハビリも実施し発症間もない患者様や術後の患者様のリハビリを積極的に推進しています。また、対照的に終末期の患者様に対しても、残存機能を生かしてご希望に沿ったプログラムを実施し最後までその方らしい生き方ができるよう支援しています。患者様の症状が日々変化し、転院や退院も早い為、常に観察力を怠らず治療技術の向上に努め急性期リハビリの使命を果たしたいと思えます。



リウマチ教室の1コマです。

身体障害部会 研修会「実践CI療法！行動変容を導く上肢機能アプローチ」

①CI療法の理論、メカニズム、②目標設定について、③課題の難易度調整について、④患者さまの行動変容を導く具体的方法について、実際の症例を交えながら分かり易く説明して頂きます。参加して頂くことで、明日から皆様の施設でもCI療法を実践することができます。

日時：平成30年11月11日(日) 13:00～17:00（受付開始12:30～）

場所：済生会高岡病院

参加費：会員 4,000円 非会員 8,000円 学生 1,000円

講師：竹林 崇 先生（吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業療法学科 准教授）

問合せ：富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

中林 亜沙美 Tel: 076-438-2233 Fax: 076-437-5390

E-mail: ot3@toyama-reha.or.jp

申し込みQRコード





株式会社ハートフル、ケアタウンとなみ

林 壮學

県士会会員の皆様こんにちは。株式会社ハートフル、ケアタウンとなみの林壮學です。作業療法士となり今年で8年目となりました。私の職場はグループホーム（定員18人）と小規模多機能型居宅介護が併設されており、私は介護職員の一人として働いています。今の職場に来て1年ほどですが、それまでは介護老人保健施設にてリハビリ業務に携わっていました。当時は私も今働いているような施設をよくわかっていませんでした。リレーバトンを受けたみしま野苑一穂の光地さんは元同僚であり、みしま野苑ひかりの田邊先生から小規模多機能型居宅介護等について話を聞く機会があり今に至っています。

グループホーム(認知症対応型共同生活介護)

は身体的に元気な方が多い施設もありますが、着取り加算もありどこまで施設で対応するか、できるかなどその内容は施設によって大きく違います。小規模多機能型居宅介護はひとつの事業所で「訪問」「通い」「泊まり」のサービスを状態に応じて組み合わせて、在宅生活を支援します。自由度が高い分事業所によってこちらも違いが大きいです。その中で、ケアタウンとなみも開設して4年目であり、探り探りの状態です。

私自身も同じであり、介護福祉士会主催の認知症介護実践研修に参加し、講義以外では自施設実習に職場の人と4週間取り組んだり、地域ケア会議にて砺波市の今後を含めた取り組みを知ることができたりと、どちらもグループワークを通して他施設や他職種の方と関わる機会が多く、地域や施設で生活を支えていく方法を考える機会が多かったように感じます。

最後に、リレーコラムのバトンを「富山県リハビリテーション病院・こども支援センター」の丸池駿介さんへ渡したいと思います。



ヴィストカレッジ富山駅前

今井 彩乃

県士会会員の皆様こんにちは。ヴィスト株式会社 ヴィストカレッジ富山駅前勤務しております今井彩乃です。作業療法士1年目です。前回、ライフ・ハウス ちむぐりさの高崎さんからバトンを受け、今回のコラムを担当させていただくことになりました。今回は、私が勤務している施設の紹介と取り組みについてお話ししたいと思います。

ヴィスト株式会社は、富山県と石川県にあり、“障がいのある人の働く希望をつくる”ことをvisionとして掲げ、事業として就労移行支援事業と就労継続支援A型事業、放課後等デイサービスを行っています。私は、専門職員として6月まで就労移行支援事業所（ヴィストキャリア）で勤務していましたが、7月から放課後等デイサービス（ヴィストカレッジ）で支援をしています。

就労移行支援は、企業での就職を目指す障がいのある方へ、長期就労に必要なスキルを身につける準備訓練や、就職活動のサポート、就職後の定着支援を行っています。その方に合った「働く」を実現するために、個別の目標を設定して取り組んでいます。

現在、私が所属している放課後等デイサービスは、障がいのある6歳～18歳までの就学児童が、放課後や休日、長期休暇に利用できる福祉サービスです。利用されるお子様一人ひとりの特性に合わせて、必要な支援を行っています。また、月に1回に保護者会、セミナーを実施し保護者支援の場を設けさせて頂いたり、利用者さんが通う学校との連携にも力を入れております。

ヴィストには私を含めOT2名・PT3名在籍しており、就労移行の分野、児童の分野で力を合わせて支援を行っています。私は支援の中で、お子さんが全力で楽しみながら、自分自身で考えてチャレンジしようとする瞬間に立ち会えることにやりがいを感じます。また、支援員として“得意な事を見つけて伸ばす”ことや、“出来ないから・苦手だから”という事を見逃してしまっていないか、どう工夫して一緒に練習していこうかと悩み自分の未熟さを日々感じます。これから、私自身もたくさんのことにチャレンジし、知識・技術ともにより良いものを目指し精進していきたいと思っています。そして、ヴィストに来てくださったお子さんやご家族様が「楽しい時間だった！また行きたい！」と思っただけのよう自分自身、“笑顔で楽しく”を意識していきたいと思っています。

次のバトンは「西リハビリテーション病院」の大谷奈央さんへ渡したいと思います。

地域に必要とされるOTになろう！

委員長 赤尾 智子

当委員会は、地域包括ケアシステムの中で作業療法士が専門職として必要とされ、貢献していけるように、OT会員間の学びや、県や市町村をはじめ関連する他職種との顔の見える関係づくりを推進することを目的に活動しています。

地域ケア会議や介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）等の地域支援活動に関わったOT会員の昨年度実績は、当委員会が把握できた総数は延べ人数で地域ケア会議が36人、総合事業が49人でした。内訳は地域ケア会議としては個別事例検討、自立支援型、連携推進などの会議への助言者としての参加です。総合事業等では介護予防教室や地域のサロン等の健康教室、認知症カフェや認知症家族介護教室などへの講師としての参加です。この他にケアマネジャーなどの専門職や介護予防推進員、民生委員などの地域のリーダー的な住民へ向けた講師もありました。

しかし総数としてはまだまだ少なく、ごく一部のOTしか関わっていなかったり、関わっているOTがいても委員会が把握できていなかったりが現状です。

7月21日22日に行われた協会主催の人材育成研修会でも①参画しているOTが少ない②参画する目的や果たすべき役割の学習や理解不足③人材育成研修やマッチングの不備が課題として挙げられました。研修会では、協会が作成した「総合事業実践事例集」（協会HPからダウンロード可能）を活用し、外に向けてはこれを携えてOTの果たせる役割を説明し、自治体との協力体制を築く事、内に向けては地域活動支援への意識を高め役割や具体的な実践方法を学ぶ研修をすすめていく事が強調されました。

当委員会では地区ごとの勉強会や全体研修会を企画し皆さんと一緒に学び、情報交換を進めていきます。富山地区開催の座談会では地区外や他職種の参加もあり、経験者からの鉄板ネタの伝授やトーク術、助言指導のポイントを具体的に知ることができ楽しく有意義だったとの声が多く聞かれました。同時に、このような場や機会を増やす事、参考にして自由に使える資料の共有、職場の理解を得る事など今後への要望や課題もいただきました。

また、昨年度の全体研修会は座学が中心でしたが、今年度はOTの専門性を活かした助言や介護予防指導などに関して座学のほかグループワークや体験型の伝達形式も検討しています。詳細が決まり次第県士会HPに掲載しますので、是非ご確認ください。皆さんの参加をお待ちしています！

<お知らせとお願い>

- ◇所属施設業務内・外で何らかの地域活動支援に関わっている方は「地域リハビリテーション支援事業講師派遣実績報告書」（県士会HPよりダウンロード可能）を作成し情報をお寄せ下さい。
- ◇災害委員会と共同で地区連絡網の見直し作業を行いました。富山地区など大幅に変更になった地区がありますので、送付された連絡網を今一度確認をお願いします。

新入会員の横顔

1. 名前
2. 施設名
3. 出身校 or 旧所属施設
4. 趣味・特技
5. 富山のおすすめスポット
6. OTとして働いてみての感想
7. 今後チャレンジしたいと思っていること



1. 木下 僚介
2. 富山リハビリテーション医療福祉大学校 作業療法科
3. 黒川病院 (新潟県)
4. 自然散歩、マジック
5. 富山城址公園 (富山市)、自家焙煎珈琲アプフェルbaum (氷見市)
6. 今年から富山に引っ越し、

OT養成校の教員となりました。臨床とは違った教育現場ならではの難しさや大変さもありますが、学生が熱心に学んでいる姿をみて、日々やりがいや楽しさを感じています。

7. 屋久島の縄文杉を見に行く、立山登山



1. 河原 さくら
2. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
3. 富山医療福祉専門学校
4. 音楽鑑賞・細かい作業が得意です
5. ヒスイ海岸
6. まだまだ分からないことが多く毎日大変ですが、患者さんの笑顔が間近で見られてやりがいを感じます。

患者さんの笑顔が間近で見られてやりがいを感じます。

7. 今は身障の分野で働いていますが、発達分野でも働いてみたいです。



1. 小林 駿介
2. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
3. 金沢大学
4. バスケットボール
5. 環水公園
6. 自分の治療に根拠を持たせ、結果を出していくために日々勉強が必要だと感じています。

しています。

7. 仕事では勉強会にできるだけ積極的に参加して、知識を集めていきたいです。趣味では11年ぶりにスノーボードに挑戦したいです。



1. 滝林 奈津美
2. 富山西リハビリテーション病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. バレーボール
5. くらべ牧場
6. もっと勉強が必要
7. たくさん旅行に行き、47都道府県制覇



1. 造藤 茗菜
2. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
3. 富山医療福祉専門学校
4. 書道、映画鑑賞
5. 風の城
6. まだまだ知らないことばかりですが日々、作業療法の奥深さを実感しています。
7. 水族館巡り



1. 後藤 有香
2. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
3. 金沢大学
4. 趣味：水泳・卓球
5. 希望していた回復期で働くことができ、大変嬉しく思っています。患者さんに関わる中で、日々患者さんの

回復や改善が見え、とてもやりがいを感じています。

6. 患者さんが再びその人らしく暮らせるように、患者さんのことを第一に考え、患者さんに寄り添ったリハビリを行ってみたいです。



1. 笹井 香那子
2. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
3. 金沢大学
4. ライブ・フェスに行くこと
5. ソウルパワー
6. 分からないことばかりですが、周りの方々に助けられながら毎日過ごさせています。もっと知識や技術を身につけていきたいです。

れながら毎日過ごさせています。もっと知識や技術を身につけていきたいです。

7. 海外旅行



1. 山内 宗
2. アルペンリハビリテーション病院
3. 藤田保健衛生大学
4. サッカー観戦
5. 黒部峡谷
6. やりがいのある仕事であると感じました。
7. 様々な治療法を勉強し、実践すること。



1. 高沢 慎太郎
2. アルペンリハビリテーション病院
3. 国際医療福祉専門学校七尾校
4. テニス・ランニング
5. 環水公園近くのスターバックスコーヒー
6. 療法士としてのみでなく社会人としても自身の至ら

なさを痛感しています。日々成長できるよう今後も自己研鑽に励みたいと思います。

7. 作業療法の幅を広げられるような住環境コーディネーターなどの資格の取得を目指して勉強していきたいと思っています。



1. 坂田 嶺
2. 谷野呉山病院
3. 金沢大学
4. ソフトテニス、ヴァイオリン
5. 環水公園
6. 患者さんの至る所に目を配らせて観察をし、評価していくことがとても重要で難しいことを痛感しています。

今後自分から勉強をしていき、知識を深めて力を付けていきます。

7. 生活の中にスポーツなど体を動かすことを取り入れていき、心身ともに磨いていきたいと思っています。また富山県内の多くの場所に行き、富山の良いところを沢山見つけていきたいです。



1. 中屋 もえ美
2. 谷野呉山病院
3. 輪廻リハビリテーション病院
4. 絵を描く、喫茶店巡り
5. 新湊大橋の夜景
6. 私は、3年間名古屋で身体障害分野で働いていました。現在、精神障害分野で新しい環境で働くことになり、

まだまだ戸惑うことやわからないことはありますが、毎日楽しく仕事をしています。精神面のアプローチは患者様ひとりひとり異なるため、日々勉強だと思っています。

7. 去年受けられなかった「認知症ライフパートナー検定試験」の勉強をし検定に合格したいです。



1. 吉原 直美
2. 谷野呉山病院
3. 専門学校社会医学技術学院
4. カレンダー作り
5. 場所ではありませんが、鋳物作りの体験は県外の友人に好評でした。
6. 精神科は長期入院や再入院の患者さんが多く、その人の人生に寄り添っていく

ことを強く実感する分野だと感じました。一人の患者様に対して多種の専門職種が関わる中で、OTだからこそ出来ること、OTになら頼みたいと周りが思ってくれることを模索中です。

7. 14年前にFコードが弾けず断念したギターに、いつかもう一度挑戦したいと思っています。



1. 松島 純香
2. 谷野呉山病院
3. 金沢大学
4. ダンス動画を見ること、リズムゲーム
5. ほたるいかミュージアム
6. 毎日いろんな患者さんと会うことができ楽しいです。
7. ジムに通って運動を習慣化したいです。



1. 塚田 奈栄
2. 厚生連高岡病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 掃除
5. 砺波市にあるチューリップ公園。春はチューリップフェア、冬はキラキラミッションなどイベントもたくさんあるので、地元民として各イベントに毎年行っている。

6. 学生のときに必死に詰め込んだ知識や技術は曖昧になっているものが多く、まだ身に付いていないため、悔しい思いをすることが多い。患者さんと上手く関わっているか不安で泣きそうになることもある。けれど、頼りになる先輩方に日々指導していただき、自分にできることが増えるのはとても嬉しいし、学んだことは必ず次に活かしたいと思う。今後も積極的に学ぶ姿勢を忘れず、自分の特性を活かしながら患者さんに寄り添える作業療法士を目指していきたい。

7. 仕事のことでは、担当することが多い脳卒中や高次脳機能障害などがテーマの勉強会に参加して理解を深めていきたい。プライベートでは、雪が降ったら大きなかまくらを作りたい。



1. 水嶋 唯乃
2. 医療法人社団平成会 桜井病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. イラストを描く事
5. ヒスイ海岸
6. 利用者さんの実際の生活を考えたリハビリを提供する難しさを実感しています。これから色々な事を経験し、

より良いOTになれるよう頑張っていきたいと思っています。

7. 今後は訪問リハビリ等にも挑戦してみたいと思っています。



1. 近藤 咲希
2. 済生会高岡病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 読書、映画鑑賞
5. 高岡大仏
6. 毎日があっという間で大変だと感じることも多々ありますが、対象者や他職種の方との関わりの中でOTの重要性を実感でき、この

仕事に就けて良かったなと思っています。
7. 私はがんのリハビリに興味があるので、研修会などに積極的に参加し、自分の興味のある分野を極めていきたいです。



1. 菅野 朱音
2. 小矢部大家病院
3. 新潟医療福祉大学
4. 音楽を聞くこと
5. 海
6. 毎日楽しいです
7. 考え中。



1. 石村 拓也
2. 介護老人保健施設葵の園・なんと
3. 富山医療福祉専門学校
4. スポーツ、スポーツ観戦、映画鑑賞
5. 雨晴海岸
6. 日々勉強することたくさんあると感じています。
7. 部屋の模様替え、1人旅



1. 坂下 光洋
2. 介護老人保健施設ゆうゆうハウス
3. 国際医療福祉専門学校七尾校
4. カラオケ、運動
5. クロスランドタワー
6. 知らないことを教えて下さり良い経験になります。
7. まだ分かりませんが自分の知らないことを多く知っていきたい。



1. 桐木 裕子
2. 介護老人保健施設 ケアポート庄川
3. 金城大学
4. 散歩
5. IOX-AROSA
6. 楽しさと、難しさ
7. 世界一周旅行



1. 長井 一史
2. あずさ会川田病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 音楽鑑賞、打楽器、旅行
5. 五箇山
6. 慣れないことばかりで大変ですが、患者さんに関わる時間は本当に楽しいです。手工芸やレクリエーション、患者さんとの関わり方など、

経験を積んではやく覚えていきたいです。
7. 海外旅行



1. 渡辺 啓太
2. 魚津緑ヶ丘病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. サイクリング、漫画を読むこと
5. ヒスイ海岸
6. 先輩方の活動の進め方や患者様とのコミュニケーションの取り方などを見て、まだまだ未熟な部分や学ばなければならないことがた

くさんあるという事を痛感しました。また、OTとして働く上で多職種との連携の大切さがとても重要であることを再認識しました。
7. お金を貯めて、北海道へ旅行に行く。



1. 今井 彩乃
2. ヴィスト佛ヴィストカレッジ富山駅前
3. 富山医療福祉専門学校
4. 美味しいものを食べることに、洋服、ドライフラワー
5. Matin (古藤屋さん)
6. 知識不足で悩むことも沢山ありますが、先輩方に助けていただきながら楽しく

仕事ができています。経験が浅いながらも作業療法の必要性、可能性を日々感じ、どの分野においてもやりがいのある仕事だなと思います。
7. 運動、旅行、陶芸、勉強会への参加



1. 間所 利成
2. 介護老人保健施設 城端うらら
3. 福井医療短期大学
4. 音楽・自転車
5. 五箇山・海王丸パーク
6. 複数の利用者様のリハビリを同時に行うので大変ですが、利用者様にアプローチし、生活が改善する過程が見られるので、楽しくてや

りがいがあると思います。
7. 様々な手技・技術の獲得、地域にもっと出ていくこと、富山弁をマスターすること

■ 会員異動等

種類	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
異動	津嶋 朋美	八尾総合病院	八尾老人保健施設 風の庭	
異動	青山 紘子	富山西リハビリテーション病院	八尾老人保健施設 風の庭	
異動	棚山由利子	富山県リハビリテーション病院 ・こども支援センター 成人療法課	富山県リハビリテーション病院 ・こども支援センター こども療法課	
異動	橋本 佑樹	富山県リハビリテーション病院 ・こども支援センター 成人療法課	富山県リハビリテーション病院 ・こども支援センター こども療法課	
異動	原田 莉歩	富山県リハビリテーション病院 ・こども支援センター 成人療法課	富山県リハビリテーション病院 ・こども支援センター こども療法課	
異動	経塚 静代	富山県リハビリテーション病院 ・こども支援センター こども療法課	富山県リハビリテーション病院 ・こども支援センター 成人療法課	
異動	藤永 賢人	川田病院	駅南あずさ病院	
改姓	高林由梨香		富山県リハビリテーション病院 こども支援センター こども療法課	旧姓 中山
修正	小林 駿介		富山県リハビリテーション病院 ・こども支援センター こども療法課	

平成30年度 第2回理事会

場 所：谷野呉山病院

日 時：平成30年7月9日(日) 19:00～

参加者：齋藤、松岡、作田、島津、丸本、吉波、
橋爪、森、松本、渡邊、藤井、大平、
能登、吉村、桐山

＜報告事項＞

1. 県士会組織、構成について
 - ・倫理委員会：大野氏（射水市民病院） 継続
 - ・選挙管理委員会：菱田氏（矢野神経内科） 継続
2. 各種事業について
 - 2-1. 協会事業：介護用ロボットのニーズ・シーズ連携協議会
キックオフ会議に松岡理事、渡邊理事が出席。県士会は、一般公募枠で、年度内に介護ロボットの提案や開発に関する意見をまとめる。構成員は、委員長：齋藤、メンバー：松岡理事、渡邊理事（事務）、太田氏（深川病院）、浜出氏（つつま園）、佐藤氏（ささづ苑）、プロジェクト・コーディネーター：中林美奈子氏（ニーズ側：富山大学）、高橋哲郎氏（シーズ側：石川県リハセンター）。中島一樹氏（交渉中）
 - 2-2. ねんりんピック
健康と長寿の祭典がねんりんピックの関連イベントとなり、PT、OT、STで予防に関するブースを出展予定。作業療法は、普及指導部中心に、作品展示や福祉用具展示、認知症作業療法委員会による体操や検査など予定。
3. 協会からの連絡
 - 3-1. 障害福祉領域に関する養成教育の実態に関する調査結果（協会HP掲載）
 - 3-2. 総合事業実践事例集（協会HP掲載）
 - 3-3. 診療報酬および厚労省関連委員会につい

て（各HP確認）

- 3-4. 協会のサーバーダウン（7月9日時点で完全に停止）
4. 各部会、委員会などより
 - 4-1. 教育部会
7月21日、22日OT協会「地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会」に、赤尾氏（地域アドバイザー委員長）、藤井理事を派遣。現職者研修（2回目）を8月5日に開催予定。26名参加予定。MTDLP基礎研修会を9月2日に開催予定。3県合同研修会を富山で開催予定。新人教育プログラム事例検討・事例報告会について、地区を合同し10月に開催予定。
 - 4-2. 精神障害部会
研修会を6月17日に開催。30名程度の参加。
 - 4-3. 発達障害部会
研修会を7月28日に開催予定。
 - 4-4. 身体障害部会
研修会を11月11日に開催予定。
 - 4-5. 認知症作業療法委員会
HPを更新予定。ねんりんピック関連イベントの準備を予定。
 - 4-6. 普及指導事業部
作業療法体験会を7月22日、8月19日に開催予定。
 - 4-7. 広報部
次号県士会ニュースに、会長巻頭言および新理事挨拶を掲載予定。新しい理事名刺を作成する。
 - 4-8. 福利厚生部
9月5日19時より懇親会を開催予定（場所は富山駅周辺を予定）。



“歩く”

歩きやすさを追求した 靴・インソール

快適に!

“聴く”

聞こえの世界が広がる 補聴器



(株)富山県義肢製作所 / 富山県補聴器センター

〒930-0042 富山市泉町1-2-16 TEL 076-425-4279 FAX 076-425-4587

E-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp URL http://www.tpo-morita.com



介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

車椅子

→ 480円より

ベッド

→ 700円より

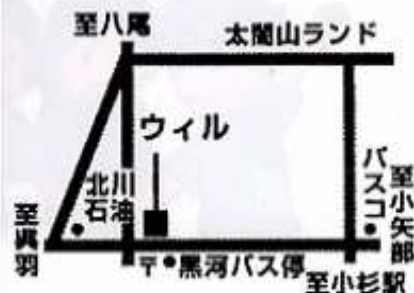
リースナブル



株式会社 ウィル

TEL (0766) 56-7099

FAX 56-3395



《検討決定事項》

1. 各種事業について
 - 1-1. 2020年東海北陸学会
事前準備委員会を設け、今年度中に2回程度開催予定。齋藤氏、丸本氏、島津氏、他、過去の県学会、東海北陸学会の貢献を踏まえ、1~2名選出する。
 - 1-2. 東海北陸リーダー養成研修会
12月1~2日に、大垣市で開催予定。新理事に加え、部長や委員長などから、計5名次回理事会までに候補者を選出する。
 - 1-3. 富山精神保健福祉協議会功労表彰の推薦について
所属での受賞歴を協議会事務局に確認し、県士会長より候補者を選出する。
 - 1-4. 協会47委員会精神科ワーキングチームアンケート依頼
精神障害部会と協議し、県士会長が回答する。
 - 1-5. 特別支援事業について
年間10件程度、作業療法士の派遣とその後の対応を行い、教材購入も実施。
当派遣事業の派遣費の見直しを発達障害部会より提案。総会直後でもあり、また、実績などの詳細を次回、理事会に提出してもらい、改めて検討する。
2. 各種研修会などについて
 - 2-1. SIG認定について
富山民区連リハビリ研修会の認定申請を保留。SIG認定基準や流れの明確化、書面化などを教育部で検討。
 - 2-2. 主任介護支援専門員更新要件について
富山県から要件に該当する研修会について問い合わせあり、教育部より返答。2時間のケアマネジメントに関する研修会が対象であり、要件を満たすような研修会については、2時間枠で設定するなど、各部会や委員会で検討。
 - 2-3. 後援協賛などについて
これまで基準はなく、県士会長一任であったため、基準や規定を作り公開する。
後援依頼のあったロコモ検診は、理学療法士会の状況を確認し、島津事務局長より返答。

3. 各部会、委員会などより
 - 3-1. 定款について
HPへ掲載する。
 - 3-2. 神経難病患者の自己体験を語る機会の相談について
ALSの講演ができる場がないか、県リハより事務局へ問い合わせあり。日程調整が難しいため、「きつときと」新聞で取材可能な旨を、松岡副会長より県リハへ返答。

《その他》

協会の各種委員会出席後の報告は、報告書と共に、可能であれば、資料回覧やPDF形式で添付

賛助会員名簿 (順不同)

会員名(代表者)	住 所
富山医療福祉専門学校 (学校長 長谷川 成樹)	〒936-0023 滑川市柳原149-9 TEL 076-476-0001
学校法人金城学園 金城大学 医療健康学部 (理事長 加藤 真一)	〒924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400
医療法人社団いずみ会 温泉リハビリテーション いづみ泉病院 (理事長 大西 仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 TEL 076-425-1166
株式会社 ウィル (代表取締役 黒田 勉)	〒939-0311 射水市黒河3075 TEL 0766-56-7099
富山リハビリテーション 医療福祉大学校 (校長 青徳 浩生)	〒930-0083 富山市総曲輪4丁目4番5号 TEL 076-491-1177
株式会社 富山県義肢製作所 富山県補聴器センター (代表取締役 森田 忠浩)	〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16 TEL 076-425-4279



編集後記

今年も早いもので半年を切りました。OTとして2度目の今年の夏は猛暑が続き夏バテに負けないよう奮闘する毎日でした。これから少しずつ秋に向かっていきますが、

この夏の暑さのような熱意を持って成長できるよう日々精進していこうと思います。

(K.K)